

桜の聖母学院中学校・高等学校 平成29年度 シラバス

履修年次	科・コース	教科名	科目名	単位数	履修形態
高1	普通科(一貫特進 ・国公立特進)	理科	化学基礎	2	必修

教科書	改訂版 化学基礎(数研出版)
その他の教材	新訂 エクセル化学基礎 (実教出版) フォトサイエンス化学図録(数研出版) 自作プリント(問題・実験・生徒用板書ノート)

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な概念や原理の理解を深め、科学的な自然観を育成する。</li> <li>○実験などを行い事物・現象の観察を通して自然に関する興味関心を高め、科学的な自然観を育成する。</li> <li>○基礎的な知識・学力を定着させる。</li> </ul>
学習のねらい	<p>問題集の問題を解くことで、学力の定着を図る。 プリントも活用し、学習の内容を確認と理解を行う。 生徒実験・教師実験を取り入れる。</p>
定期考査	中間考査・期末考査ともに実施
評価の観点 および 評価の方法	<p>学期評価：定期考査で7割程度、平常点で3割程度の割合で、評価する。 学年評価：各学期評価の平均を基準として学年評価とする。 平常点：小テスト、実力テスト、実験レポート・課題等の提出状況、授業態度(授業への参加度等)、その他学習活動を総合的に評価する。</p>
履修上の注意	<p>授業用ノートの他に、問題用ノートを用意すること。プリントも多数配布するため、専用のファイル(A4判)を準備すること。</p> <p>全体を通して化学的な事象を数式で記述することが多いので、各自が積極的に問題演習に取り組むことが必要とされる。</p> <p>多くの高校生が苦手としている科目であり、少しでも怠けることは赤点(落第点)に直結するので、毎日きちんと覚えていくということを意識して取り組むこと。</p> <p>学習した日のうちに復習をすること。授業内容が分からない時は、指導者に質問し、疑問点を解決してから帰宅する心がけが大切。日々着実な理解に努めること。</p>

桜の聖母学院中学校・高等学校 平成29年度 年間指導計画

期	月	学習項目・学習内容	テストと評価
1 学期	4 月	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 1. 純物質と混合物 2. 物質とその成分 3. 物質の三態と熱運動	(実験)炎色反応
	5 月	第2章 物質の構成粒子 1. 原子とその構造 2. イオン	(生徒作業)電子配置とイオン化
	6 月	3. 周期表 第3章 粒子の結合 1. イオン結合 2. 分子と共有結合 3. 分子間にはたらく力 4. 共有結合結晶	(生徒作業)イオン結合の物質の理解 (生徒作業)分子の理解
	7 月	5. 金属結合	
夏季休業		2学期開始時に行う確認テストに向けた学習を夏季休業中の課題とする。	
2 学期	8 ・ 9 月	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 1. 原子量・分子量・式量	
	10 月	2. 物質質量 3. 化学反応式と物質質量	【二学期中間考査】
	11 月	第2章 酸と塩基の反応 1. 酸と塩基 2. 水の電離と水溶液のpH 3. 中和反応	(実験)中和と中和熱 (実験)中和滴定 滴定曲線
	12 月	4. 塩 第3章 酸化還元反応 1. 酸化と還元	【二学期末考査】
冬季休業		3学期開始時に行う確認テストに向けた学習を冬季休業中の課題とする。	
3 学期	1 月	2. 酸化剤・還元剤 3. 金属の酸化還元反応	(実験)金属のイオン化傾向
	2 月	4. 電池・金属の製錬	
	3 月	復習と問題演習	【学年末考査】